

授業科目	看護解剖生理学IV	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次後期	1	講義	15 時間
到達目標	1. 男女の生殖器の構造と機能、遺伝のしくみについて理解する。 2. 各感覚器官の構造と機能について理解する。 3. 皮膚の構造と機能について理解する。					講師
						泌尿器科医師 産婦人科医師 眼科医師 耳鼻科医師 皮膚科医師
授業計画						
1 回	男性生殖器の構造と機能					泌尿器科医師 (2 時間)
2 回	女性生殖器の構造と機能					産婦人科医師 (5 時間)
3 回	女性の生殖機能					
4 回	受精と胎児の発生					
5 回	眼の構造と視覚					眼科医師 (2 時間)
6 回	耳の構造と聴覚・平衡覚					耳鼻咽喉科医師 (4 時間)
7 回	嚥下に関する器官の構造と機能					
8 回	皮膚の構造と機能 生体の防御機構					皮膚科医師 (2 時間)
評価方法	修了試験 選択肢又は論述問題による筆記試験 泌尿器科医師 (10%)、産婦人科医師 (40%)、眼科医師 (10%)、耳鼻咽喉科医師 (30%)、 皮膚科医師 (10%) を総合して評価する					
教科書	共通 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 泌尿器科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑧腎・泌尿器 医学書院 産婦人科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑨女性生殖器 医学書院 眼科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑬眼 医学書院 耳鼻咽喉科医師 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑭耳鼻咽喉 医学書院 皮膚科医師：系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑫皮膚 医学書院					
参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 医学書院 『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					